

1. 各種委員会・部会報告

① 介護保険推進委員会

令和6年度の介護報酬改定を受けて会員事業所の経営への影響について実態調査を行い、調査結果に基づいて適正な介護保険制度・報酬の確立に向けて、厚生労働省・国会議員と意見交換・提言を行った。その要望概要については、ホームページに掲載するほか、令和7年3月25日の総会及び本会機関紙「かけはし」号外で報告した。

また、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険推進委員会 (4回)	4月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和6年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 13名 県庁 1名 調査会社 1名 (WEB 9名含む)
	5月27日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度事業について ①調査研究事業 ②介護保険研修会	県老協 10名 県庁 1名 調査会社 1名 (WEB 7名含む)
	9月30日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度事業について ①調査研究事業	県老協 10名 県庁 1名 調査会社 1名 (WEB 7名含む)
	1月21日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度事業について 2. 令和7年度事業について	県老協 11名 県庁 1名 (WEB 8名含む)
介護保険研修会	7月5日	県福祉センター	令和6年度介護報酬改定にともなう加算取得方法に関する研修会 講義① 『特養と短期入所生活介護の基準改正報酬改定状況と今後の事業戦略』 講義② 『通所介護の基準改正報酬改定状況と今後の事業戦略』 北海道介護福祉道場あかい花 代表 菊地雅洋氏	会場参加 26名 WEB参加 91名 HP閲覧 特養74回 デイ12回
調査研究事業	10月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度事業について 調査研究事業・要望・提言	県老協 4名 調査会社 1名 (WEB 2名含む)
調査研究事業	介護報酬改定に伴う事業所運営への影響に関する調査			

② サービス評価委員会

会員特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、本年度は評価8施設、再評価1施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4月11日	県福祉センター	<協議事項> - 令和5年度サービス評価事業公表まとめ - 特徴的なサービス事例 - 実施施設「良い現状」事例 - 実施施設全体の講評（班長） - 令和6年度サービス評価事業について - 希望施設について - サービス評価事業のあり方について - 班長の役割について - タイムスケジュールについて - 委員心得について - 委員名簿・班構成 - サービス評価希望項目 - 実施施設説明会 - 再評価実施施設説明会 - 委員勉強会 - 令和7年度サービス評価事業実施予定施設	5名
実施施設説明会	7月11日	県福祉センター	- 実施施設の紹介 - 概要説明 - サービス評価事業記入手順について - サービス評価希望項目の選び方 - 事前資料などの提出について - サービス評価事業実施要綱 - サービス評価委員名簿 - 当日タイムスケジュール 【事前提出資料】 - 施設データ - 職員状況（常勤・非常勤、男女） - 利用者の状況 - サービス評価希望項目 - 当日出席いただく方の役職・名前 【実施後提出資料】 - サービス評価事業実施施設所感文 - サービス評価事業総括票 - 実施視察日程について - 質疑応答	11施設 30名

サービス 評価委員会 勉強会	8月8日	県福祉センター	1. 委員・事務局紹介 2. サービス評価について 3. 実施日並びにタイムスケジュールについて 4. 事前資料（現状・課題）の確認方法 5. 報告書の作成について 6. 委員の心得について 7. 各職種別意見交換 ・各評価項目確認について統一すべきポイント ・実施視察において統一すべきポイント 講義 『令和6年度施設サービス評価委員会勉強会』 大阪人間科学大学人間科学部社会福祉学科 教授 時本ゆかり氏	19名
			講義 『実地視察における感染予防について』 関西福祉科学大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 加藤友野氏	HP閲覧 17回
総括会議	3月19日	県福祉センター	1. 令和6年度サービス評価事業について ①令和6年度サービス評価事業公表まとめ ・特徴的なサービス事例 ・実施施設「良い現状」事例 ・実施施設全体の総評（班長）	18名
評価事業 実施施設	9月～1月	各実施施設	出石愛の園、あえの里式番館、姫路・勝原ホーム、 ぐろ〜りあ、錦が丘、やすらぎ園、サンライフ御立、 春日苑、セントポーリア愛の郷 （サービス評価実施報告書参照）	評価 8施設 再評価 1施設
発行物	「サービス評価事業報告書-令和6年度版-」 （部数）冊子 800部（配布先）会員施設・関係団体			

③ 調査研究委員会

令和6年度も、前年度に引き続き当業界の継続的な課題である「人材の確保・定着及び人材育成/労働環境・処遇改善等」をテーマに掲げ、アンケート結果に基づく課題発掘と対策の検討及びベスプラ施設訪問による取組状況の確認を実施した上で、ベスプラ施設の取組事例発表会&関連セミナーを開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究 委員会 (8回)	6月27日	WEB	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告について <協議事項> 1. 令和6年度事業計画について	WEB10名
	8月9日	いやさか苑	<ベスプラ施設現地説明会①> 取組内容報告・ディスカッション 等	6名
	8月20日	恵泉	<ベスプラ施設現地説明会②> 取組内容報告・ディスカッション 等	5名
	8月22日	シスナブ御津	<ベスプラ施設現地説明会③> 取組内容報告・ディスカッション 等	4名
	9月6日	さくらの苑	<ベスプラ施設現地説明会④> 取組内容報告・ディスカッション 等	3名

	10 月 11 日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全体スケジュール・進捗状況報告 2. ベスプラ 4 施設訪問について <協議事項> 1. 関連セミナー実施要領の検討 2. 令和 7 年度に向けての重点活動方針の検討	8 名 (WEB 5 名 含む)
	11 月 7 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 発表会&セミナー実施要領の会員施設案内 2. 次年度（令和 7 年度）に向けての重点活動方針 の検討	8 名 (WEB 5 名 含む)
	12 月 20 日	県福祉センター	<協議事項> 1. ベスプラ施設取組事例発表会&関連セミナー 2. 次年度（令和 7 年度）に向けての重点活動方針 の検討	7 名 (WEB 1 名 含む)
取組事例 発表会	12 月 20 日	県福祉センター	ベスプラ施設取組発表会&関連セミナーの開催	WEB 参加 57 名 HP 閲覧 54 回

④ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信するとともに、会員相互の情報や意見の交流を目的とした機関紙「かけはし」を 3 回発行・配布し、併せてホームページ上に掲載した。

なお、第 119 号は「老人福祉計画（第 9 期介護保険事業支援計画）の策定」、第 120 号は「令和 6 年度介護報酬改定の影響」を特集し発行した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3 回)	7 月 26 日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和 5 年度事業報告について <協議事項> 1. 令和 6 年度事業計画について 2. かけはし 118 号について 3. かけはし 119・120 号について	9 名 (WEB 8 名 含む)
	12 月 4 日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし 119 号について 2. かけはし 120 号について 3. 令和 7 年度事業計画について	8 名 (WEB 7 名 含む)
	3 月 7 日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし 120 号について 2. 令和 6 年度事業報告について	WEB 8 名
発行物	「かけはし」 118 号・119 号・120 号 (部 数) 2,000 部 (時 期) 8 月・12 月・3 月 (配布先) 会員施設、関係団体			

⑤ ケアプラン委員会

本年度は、ケアプラン作成担当者（初学者）を対象に「包括的自立支援プログラム」の浸透を図るべく、基礎研修会を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン委員会 (5回)	5月27日	WEB	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告について <協議事項> 1. 令和6年度事業計画について	WEB10名
	7月9日	WEB	<協議事項> 1. 第1回、第2回、第3回ケアプラン基礎研修会実施概要 検討	WEB9名
	8月27日	WEB	<報告事項> 1. ケアプラン基礎研修応募状況について <協議事項> 1. ケアプラン基礎研修会実施について 2. ケアプラン基礎研修会説明資料確認について	WEB10名
	11月14日	県福祉センター	<協議事項> 1. 第2回ケアプラン基礎研修会演習課題対応の事前打ち合わせ等	9名
	2月26日	WEB	<協議事項> 1. 令和7年度事業計画について	WEB9名
ケアプラン基礎研修会	9月18日	県福祉センター	講義 『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 『ケアプラン作成の基本と留意点【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームたちばな苑 堀井伸浩氏	参加32名
	11月25日	県福祉センター	事例演習①、事例演習②、参考事例（テーマ、優先順位、3か月後の経過の説明）	参加32名
	1月23日	県福祉センター	講義 『ICFの概念に沿った施設サービス計画書の作成』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	参加31名
ブロックケアプラン研修会	実施日	ブロック	場 所	参加人数
	11月18日	淡 路	洲本市文化体育館 特別養護老人ホームたちばな苑 堀井伸浩氏	23名
委員派遣事業	11月18日	姫 路	ホテルモントレ姫路 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	31名

⑥ 研修委員会

会員事業所のニーズに沿いながら、事業所が自由に活用できるよう事業所に課せられている法定研修のうち「倫理及び法令遵守に関する研修」等4研修をWEBで配信した。施設長研修会、介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修会、広く県民参加型の人生の最終段階に向けての県民フォーラムを実施、生産性の向上セミナーを開催するとともに介護支援専門員模擬試験助成をした。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (3回)	4月18日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告について <協議事項> 1. 令和6年度事業計画について 2. 各研修会について ・法定研修 ・施設長研修 ・介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修会 ・人生の最終段階に向けての県民フォーラム 3. 介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験助成について	WEB 7 名
	10月15日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和6年度介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 2. 各種研修報告 <協議事項> 1. 令和6年度介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修事業 ・職員研修について ・フォーラムについて 2. 施設長研修会について	8 名 (WEB 3 名含む)
	1月21日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和6年度介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験について 2. 各種研修報告 <協議事項> 1. 令和6年度施設長研修について 2. 令和7年度事業計画について ・介護支援専門員実務研修受講試験対策模擬試験助成について ・各種研修会について	8 名 (WEB 3 名含む)
介護支援専門員模擬試験助成	2024 年度ケアマネジャー試験 統一模擬試験（在宅受験） 5 名 2024 ケアマネジャー受験対策WEB講座「ケアマネ試験合格ナビ」 2 名			

施設長 研修会	1月27日 ～28日	神戸メリケンパ ークオリエンタ ルホテル	【1日目】 現況報告 一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 会長 藤澤 徹 講演① 『求職者に響く！「採用ホームページ、SNS」改善 活用法』 ホームページコンサルタント永友事務所 代表 永友一朗氏 行政説明 『高齢者の安心確保の推進について』 兵庫県福祉部高齢政策課 課長 横田陽子氏 『社会福祉法人の指導監査について』 兵庫県福祉部総務課 法人指導官 三木水奈子氏 【2日目】 講演② 『働く人に寄り添うワークライフファシリテータ ーの役割 ～ひとりで悩む事なくいきいきと働く～』 株式会社パソナ ワークライフファシリテーター協会 高津美咲氏	会場参加 107名
法定研修	7月5日	WEB	『プライバシー保護に関する研修』 佐藤健宗法律事務所 弁護士 三好登志行氏	WEB参加 76名 HP閲覧 487回
			『倫理及び法令遵守に関する研修』 佐藤健宗法律事務所 弁護士 三好登志行氏	WEB参加 76名 HP閲覧 315回
	6月～3月	WEB配信	『従事者に対する医療に関する教育、研修』 医療法人社団実風会 新生病院 看護部長 鶴屋邦江氏	HP閲覧 314回
	11月～3月	WEB配信	『精神的ケアに関する従業者研修』 医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル 藤本清司氏	HP閲覧 170回
介護職員等 の人生の最終 段階における 対応向上 研修会	12月3日	WEB	講義 『終末期ケアとグリーフケア』 神戸大学医学部附属病院患者支援センター 副センター長 塩川ゆり氏	WEB参加 138名 HP閲覧 69回
人生の最終段 階に向けての 県民フォーラ ム	11月19日	兵庫県私学会館	講演 『終末期の過ごし方、あなたは考えたことあ りますか？ ～縁起でもない話をはじめよう～』 日本終末期ケア協会 宮武佳菜枝氏	会場参加 116名

生産性の向上 セミナー	7月29日	WEB	講義 『誰も知らない！？ 失敗しないテクノロジー導入の本質』 社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム六甲の館 理事長・施設長 溝田弘美氏	WEB参加 73名 HP閲覧 72回
----------------	-------	-----	--	-----------------------------

⑦ 介護人材確保推進委員会

介護のやりがい、素晴らしさを啓発するため、小・中学生用リーフレット、高校生以上用リーフレットを作成し、県下中学・高校等へ出前授業を実施した。また、人材確保を図るため、介護福祉士養成校での就職出前プレゼンテーションの開催や、イメージアップPR事業として「Instagram」「X」といったSNSを活用して広告配信した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護人材 確保推進 委員会 (6回)	6月17日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告について <協議事項> 1. 令和6年度事業計画について ① 就職出前プレゼンテーションについて ② 介護業界PR事業について ③ 介護業務認知度アップ啓発ツールの増刷・配布 ④ イメージアップ推進員による中学校・高等学校等への啓発活動 ⑤ ICTを利用した求職支援	9名 (WEB4名含む)
	7月30日	県民会館302	<報告事項> 1. 就職出前プレゼンテーション報告 2. HPアクセス数報告 <協議事項> 1. SNSを活用して介護業界のWEB広告の発信業務	6名
	10月1日	県福祉センター	<協議事項> 1. WEB広告 事業者及び内容の決定	8名
	11月5日	WEB	<協議事項> 1. SNS広告原稿確定	WEB7名
	1月7日	県福祉センター	<報告事項> 1. イメージアップ推進事業進捗状況について <協議事項> 2. SNS広告について、制作会社による分析結果報告及び今後の方針 3. R7年度事業計画について	7名
	3月4日	WEB	<協議事項> 1. SNS広告結果報告 2. 次年度PR事業について 3. 次年度就職出前プレゼンテーションについて	WEB8名

イメージアップ推進員派遣	5月～2月	各 小・中・高等学校	介護の魅力を伝えるため、推進員を派遣 (阪神) 真砂中学校、鳴尾高等学校、西宮今津高等学校(2回)、伊丹西高等学校 (東播磨) 別府小学校、高丘中学校、魚住東中学校、明石南高等学校(5回)、多可高等学校(2回) (姫路) 林田小学校(2回)、高浜小学校、白鷺中学校、広畑中学校、林田中学校、灘中学校、高丘中学校 (西播磨) 赤穂高等学校 (但馬) 神美小学校、村岡小学校、清滝小学校、小代中学校、日高東中学校、日高西中学校、村岡中学校、養父中学校、但馬農業高等学校 (丹波) 久下小学校、三木東高等学校、龍野北高等学校、日高高等学校 (淡路) 福良小学校、東浦中学校	32校
出前プレゼンテーション	7月	各 介護福祉士養成校	兵庫県立総合衛生学院 姫路ハーベスト医療福祉専門学校	2校 2回
「介護業界のPR」事業	「Instagram」「X」といった SNS を活用して広告配信し、介護業界の認知度を上げるため当会ホームページに誘導をした。			
介護業務イメージアップ啓発リーフレット作成・配布	リーフレット：「楽（らく）♪介護」4.4万枚 配布先：県下公立中学校中学1年生、各市町教育委員会等 リーフレット：「わたしを、叶える。」4.5万枚 配布先：県下公立高等学校1年生、県下私立高等学校1年生等			

⑧ 地域サポート施設推進委員会

平成30年度より兵庫県で新たに「地域サポート施設知事認定制度」が開始されたことにあわせ、新制度下の認定事業所の事例報告会及び次年度に向けての説明会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
委員会 (3回)	8月2日	WEB	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告 <協議事項> 1. 事例発表施設について 2. 研修会について 3. 事例発表会及び研修会日程と実施形態について	WEB 6名
	8月29日	WEB	<報告事項> 事例発表開催日について <協議事項> 1. 事例発表施設の選定 2. 事例発表日タイムスケジュールについて 3. グループワークのテーマ及びテーマ数について	WEB 5名
	10月2日	WEB	<協議事項> 1. 事例発表について	WEB 5名

募集説明 会、事例発 表会及びグ ループワー ク	12月12日	県福祉センター	事業説明 『令和7年度地域サポート施設推進事業募集説明』 兵庫県福祉部高齢政策課 地域包括ケア推進班 日置 彩伽氏 『ほっとかへんネット』の事例紹介について 兵庫県社会福祉協議会 主任 岸田彰範氏 『介護老人福祉施設愛しやの地域貢献活動～地域サポ ート施設&ほっとかへんネットを通じて～』 特別養護老人ホーム愛しや施設長 和田周郎氏 介護主任 土肥拓路氏	9名
--------------------------------------	--------	---------	---	----

⑨ 養護部会

介護保険事業として、様々な外部サービスを活用出来る可能性とともに、ケアできる介護度の幅も広がり利用者の自立支援に向けて、ソーシャルワーク機能の実践を基盤とした養護老人ホーム独自の役割・機能・ケアの在り方、地域包括ケアシステムについても、部会・研修会を通じて学び、会員施設からの意見・提案・課題にも応えた。

また、養護老人ホームにおける入所者の状況や所在地の自治体との関係性について実態を調査した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (4回)	5月30日	県福祉センター	＜報告事項＞ 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 ＜協議事項＞ 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和6年度事業計画について 3. 令和7年度予算要望について 4. 委員の交代	3名 (WEB1名 含む)
	9月1日	県福祉センター	＜協議事項＞ 1. 令和6年度事業について 2. 令和7年度予算要望について	5名 (WEB1名 含む)
	1月20日	県福祉センター	＜協議事項＞ 1. 令和6年度事業について 2. 令和7年度事業計画について	4名
	2月13日	WEB	＜協議事項＞ 1. 令和6年度事業について	WEB4名
研修会	12月4日	神戸婦人会館	説明 『兵庫県内の養護老人ホームの動向』 兵庫県福祉部高齢政策課 主幹 吉田虎嗣氏 講義 『どうなる？どうする！これからの令和な養 護老人ホームについての学びとわかち』 社会福祉法人 カトリック聖ヨゼフホーム 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 特別養護老人ホームサンタ・マリア 総合施設長 平岡 毅氏	29名
施設長会	2月20日	WEB	議案 『養護部会次期部会長(理事候補者)・副部会長(運 営委員)、部会役員改選に関する件』	22名 (うち、出 席10名委 任状:12 名)

⑩ 軽費・ケアハウス部会

日々のサービスにおいて、様々な困りごとの中でも「認知症」に着目し、「軽費・ケアハウスにおける困難事例（認知症）」についてアンケートを実施、結果を基に研修会では事例検討を行った。

軽費老人ホーム事務費補助金の一般財源化に伴う予算確保、及び生活費の改定について県に要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ ケアハウス 部会 (2回)	6月3日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告について <協議事項> 1. 令和6年度事業スケジュールについて ・各種研修会 ・研究事業について 2. 令和7年度予算要望について	5名 (WEB3名含む)
	1月16日	県福祉センター	<報告事項> 1. 軽費・ケアハウス部会研修について <協議事項> 1. 施設長会について 2. 令和7年度事業計画について	5名 (WEB2名含む)
部会研修会	12月16日	WEB	講義 『ケアハウスの困難事例（認知症）について ～事例検討から学ぼう～』 社会福祉法人三翠会 統括施設長 前川嘉彦氏	WEB参加 30名 HP閲覧 17回
施設長会 (総会)	2月26日	WEB	議案 『令和7年度事業計画について』 報告事項 『次期役員について』	50名 (うち、出席：9名 書面表決書：41名)

⑪ デイ部会

介護保険事業所としての会員の現状と今後の動向や課題等の把握を基本とし、選ばれるデイサービスとなるための事業所の経営、運営、サービスの質の維持、向上について部会で検討し、情報発信を行った。会員事業所が情報を共有する機会として、「今の時代のレクリエーション」をテーマに時代にあった研修会を企画、実施した。

また、介護保険事業の現状と課題を整理し、国への提言・要望を介護保険推進委員会と連携し実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (3回)	6月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. 令和5年度事業報告について 2. 令和6年度事業計画について <協議事項> 1. 調査項目について 2. 研修会等について	6名 (WEB2名含む)
	10月7日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 県への要望について 3. デイ部会研修会について 4. 管理者会について	6名 (WEB2名含む)

	1 月 14 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 管理者会について 2. 令和 7 年度事業計画について	5 名
部会研修会	1 月 14 日	県福祉センター	講義 『今の時代のレクリエーションについて』 株式会社ＱＯＬサービス 代表取締役 妹尾弘幸氏	会場参加 65 名
総会 (管理者会)	3 月 10 日	WEB	議案 『令和 7 年度事業計画について』 報告事項 『次期役員について』	171 名 (うち、出席：29 名 書面表決書：142 名)

2. 情報発信事業

本会並びに会員の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員及び広く県民に情報発信することを目的に、下記報告書等を発行するとともに、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時 期	配布先	内 容	部 数
かけはし	8 月 12 月 3 月	会員事業所 関係団体等	かけはし 118 号～120 号を発行し、会員施設並びに関係団体へ配布し、併せてホームページ上に掲載した。	各 2,000 部 119 号 号外 1,500 部
サービス評価 事業報告書	年 1 回	全員事業所 関係団体等	自己評価支援を行った評価 8 施設と再評価 1 施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く全員施設並びに関係団体、一般に配布した。	800 部
介護業務イメージアップ動画・リーフレットの配布	随時	(小・中学生用) 県内中学 1 年生等 (一般用) 県下高等学校 1 年生等	介護業務に対するイメージをアップするための中学生向けリーフレットを増刷し、中学校等に配布した。 就職・進学等の進路を考える高校生に介護業界を知ってもらうため、県下高等学校等に配布した。	(小・中学生用) 4.4 万枚 (一般用) 4.5 万枚
ホームページの運用	随時	本会 ホームページ	会員事業所に介護保険情報等の各種情報をタイムリーに提供するとともに、広く県民にも本会の事業内容、会員事業所情報、求人情報等を公開した。	随時

3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

行政・各関係団体との連携を図るとともに、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	提出先	事 業 内 容	参加人数
国・県予算 対策事業 (要望書の提出)	9 月 5 日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、物価高騰、人材確保対策など令和 7 年度予算に向け要望を行った。	3 名
	11 月 8 日	県庁	兵庫県部長並びに所管課に対し、物価高騰、人材確保対策など令和 7 年度予算に向け要望を行った。	6 名
要望書に対する回答会	2 月 17 日	県庁	令和 7 年度予算要望について兵庫県より回答を受けるとともに、意見交換を行った。	8 名
	3 月 21 日	自由民主党県連	自由民主党県連より令和 7 年度政策要望に係る回答を受けるとともに、意見交換を行った。	3 名

介護報酬改定を受けての経営実態調査分析結果に基づく意見交換	11月26日 ～27日	厚生労働省 関係国会議員	『介護報酬改定を受けての経営実態調査分析結果に基づく意見交換』 （面談者） 衆議院議員 田村憲久氏 参議院議員 衛藤晟一氏 自由民主党厚生労働部会長 長坂康正氏 厚生労働大臣政務官 安藤高夫氏 衆議院議員兵庫3区 関芳弘氏 〃 兵庫5区 谷公一氏 〃 兵庫10区 渡海紀三朗氏 〃 兵庫11区 松本剛明氏 〃 兵庫12区 山口壯氏 参議院議員 末松信介氏 厚生労働省老健局長 黒田秀郎氏 厚生労働省関係各課 要望書提出 他多数 ※かけはし 号外により状況報告	7名
-------------------------------	----------------	-----------------	--	----

4. その他の事業

① 表彰・感謝事業

会員の各事業所に従事する職員等で、10年以上勤務し顕著な功績のあった者等に対して、本会定時総会において表彰した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容
表彰	6月26日	ポートピア ホテル	10年勤続職員 166名

② ブロック助成事業

各ブロックにおける研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。

（令和6年度ブロック助成事業報告書参照）

③ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人福祉施設の次代を担う人材の育成を目的に設置されている青年部会の事業推進に対し、本会から事業助成金を交付した。

（令和6年度青年部会運営助成事業報告書参照）

④ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	
全国老人福祉施設大会・研究会議－J S フェスティバル in 滋賀－への参加	11 月 21 日 ～22 日	びわ湖大津プリンスホテルコンベンションホール「淡海」	【1 日目】メイン会場〔開会式、全体会〕 <基調報告>公益社団法人全国老人福祉施設協議会 <行政報告> 厚生労働省 <ロボット・ICT シンポジウム> 『介護新時代に求められる働き方と介護 DX～全国老施協版介護 ICT 導入モデル事業の普及研修(実地研修) レビュー～』 <女性キャリアアップ推進部会プログラム> 『女性管理職から見た介護現場における職場環境整備～生産性向上を生み出す女性の力～』 <特別記念プログラム> 『日本の在宅サービスの展望と未来～2040 年モデル経営からのグランドデザイン』 【2 日目】〔分科会〕	会場参加 36 名
近畿老人福祉施設研究協議会《京都大会》への参加	7 月 3 日 ～4 日	7 月 3 日 ウェスティン都ホテル京都 7 月 4 日 京都市勧業会館 みやこメッセ	【1 日目】 <情勢報告> 公益社団法人 全国老人福祉施設協議会 <記念講演> 『大谷流「ココロの元気」のつくり方』 (有) 志縁塾 代表取締役 大谷由里子氏 【2 日目】〔分科会〕	会場参加 62 名

⑤ 介護の仕事普及啓発活動

福祉を学ぶ県内の公立高校が参加する「兵庫県高等学校福祉教育フェア 介護技術コンテスト」の主催者に優勝旗を寄贈した。

5. 法人運営

法人の運営について協議するため開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
第 45 回 総会	6 月 26 日	神戸ポートピアホテル	<議案事項> 第 1 号議案令和 5 年度事業報告及び計算書類承認の件 <報告事項> 会費規程の変更の件	出席会員数 242 名 (内、委任状出席 173 名)
第 46 回 総会	3 月 25 日	県福祉センター	<決議事項> 第 1 号議案令和 6 年度事業計画の一部変更 (案) 第 2 号議案令和 6 年度第 1 次収支補正予算 (案) 第 3 号議案令和 7 年度業計画 (案) 第 4 号議案令和 7 年度収支予算 (案) <報告事項> 災害時支援基金の設置及び管理に関する内規の制定	出席会員数 250 名 (内、委任状出席 209 名)
第 1 回 理事会	6 月 7 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和 5 年度事業報告承認の件 2. 令和 5 年度計算書類承認の件 3. 総会の招集と議案の承認の件 4. 表彰対象者選考、決定の件	出席者 理事 13 名 監事 2 名

			5. 新規入会事業所の承認の件 6. 会費規程の変更の承認の件 <報告事項> 1. 令和6年度部会委員会業務分担 2. 退会事業所・ゆめさき三清荘会費未納 3. 他団体の役割分担	
第2回 理事会	3月5日	県福祉センター	<決議事項> 1. 令和6年度事業計画の一部変更（案） 2. 令和6年度収支補正予算（案） 3. 令和7年度事業計画（案） 4. 令和7年度収支予算（案） 5. 災害時支援基金の設置及び管理に関する内規の 制定（案） 6. 総会の開催（召集手続） 7. 新規入会事業所について	出席者 理事13名 監事2名
第3回 理事会	3月25日	県福祉センター	<決議事項> 1. 事務局長の任免について（案）	出席者 理事14名 監事2名
監事監査	5月22日	県福祉センター	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度決算について	3名
第1回 正副会長 会議	4月25日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度 部会・委員会構成・役割分担につ いて 2. 事業の進め方について 3. 令和7年度兵庫県の福祉政策への提言 4. 県委託事業 5. 新規入会事業所 6. 退会事業所 7. その他 ・令和6年度他団体役職一覧 ・兵庫県高齢者特別賞表彰候補者の推薦および 潜在候補者の調査（県庁） ・兵庫県社会福祉大会における知事表彰候補者 の推薦（県庁） ・養護部会 ・「令和6年能登半島地震」への支援状況（社 協）	8名
第2回 正副会長 会議	5月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和5年度事業報告 2. 令和5年度計算書類 3. 運営委員会・理事会・総会の開催 4. 表彰 5. 新規入会事業所 6. 国への要望時期について 7. 県委託事業について 8. その他 ・公明党政策要望懇親会の要望項目 ・ひょうご福祉の現場若手リーダー賞候補者募 集協力団体の承諾について ・ケアプランの冊子	7名 （WEB1 名含む）

第3回 正副会長 会議	7月23日	県福祉センター	<協議事項> 1. パソコン周辺機器について 2. 県委託事業について 3. 公明党政策要望懇談会結果 4. 厚生労働大臣表彰 5. その他 ・介護の日事業及び人生の最終段階フォーラム見直しについて ・入会・退会事業所 ・介護保険推進委員会調査提出状況 ・本会入会率	7名
第4回 正副会長 会議	9月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 県予算要望対応方針 3. 県委託事業等について 4. その他 ・大規模研修事業交付金内規 ・本会入会状況 ・新規入会事業所	7名 (WEB1名含む)
第5回 正副会長 会議	10月18日	神戸市中央区 文化センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 県予算要望について 3. 県委託事業等について 4. その他 ・会費請求状況	6名
第6回 正副会長 会議	11月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. 国への要望について 2. 今後の日程調整について 3. 各委員会・部会における研修会の整理・簡素化について 4. その他 ・年賀状 ・県委託事業	7名
第7回 正副会長 会議	12月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 今後の予定について 2. 車椅子の寄贈・寄贈式 3. その他 ・国への要望報告 ・ZOOM ライセンス料等の負担について ・会員状況（会費納入状況など） ・兵庫県予算編成に対する要望の回答と意見交換会 ・県委託事業	7名
第8回 正副会長 会議	2月10日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度事業計画の一部変更（案） 2. 令和6年度収支補正予算（案） 3. 令和7年度事業計画（案） 4. 令和7年度収支予算（案） 5. 基金の設立について 6. 交付金交付申請書（青年部会） 7. 運営委員会・理事会・総会（案） 8. その他	8名

			・ケアプラン委員会について ・会員状況 ・令和6年度県受託事業 ・全老協 代議員について ・祝賀会	
第1回 運営委員会	5月23日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和5年度事業報告承認の件 2. 令和5年度計算書類承認の件 3. 理事会・総会の議題の承認の件 4. 表彰対象者選考、決定の件 5. 入会申込事業所承認の件 6. 会費規程の変更の承認の件 7. 令和6年度部会・委員会構成・役割分担承認の件 8. 事業の進め方の件 <報告事項> 1. 退会事業所・ゆめさき三清荘 会費未納について 2. 石川県老人福祉施設協議会からの礼状 3. 他団体の役割分担 4. 各部会・委員会・ブロック報告 5. 令和6年度兵庫県からの受託事業	23名 (WEB6 名含む)
第2回 運営委員会	2月27日	県福祉センター	<協議事項> 1. 令和6年度事業計画の一部変更（案） 2. 令和6年度収支補正予算（案） 3. 令和7年度事業計画（案） 4. 令和7年度収支予算（案） 5. 災害時支援基金の設置及び管理に関する内規の制定 6. 理事会・総会（案）の開催について <報告事項> 1. 各部会・委員会報告・ブロック報告 2. 大規模研修事業交付金交付内規について 3. 入会事業所について 4. 退会事業所 5. ゆめさき三清荘 会費未納について 6. 令和6年度県受託事業 7. 本会次期委員会委員について	25名 (WEB8 名含む)

6. 受託事業等

① 福祉・介護従事者キャリアアップ研修事業（補助事業）

福祉人材確保対策事業の一環として、老人福祉施設・事業所の福祉・介護従事者のキャリアアップを支援するための県の助成制度（補助）を利用して下記研修会を実施した。

[以下再掲]

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 基礎研修会	9 月 18 日	県福祉センター	講義 『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 『ケアプラン作成の基本と留意点【包括的自立支援 プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームたちばな苑 堀井伸浩氏	参加 32 名
	11 月 25 日	県福祉センター	事例演習①、事例演習②、参考事例（テーマ、優先順 位、3 か月後の経過の説明	参加 32 名
	1 月 23 日	県福祉センター	講義 『ICF の概念に沿った施設サービス計画書の作成』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏	参加 31 名

② 介護人材確保・定着支援事業（補助事業）

介護職員の確保が喫緊の課題となっている状況において、やりがいを感じ、成長できる職場として、定着して働き続けられるよう介護職員の介護福祉士国家資格取得を支援するための実務者研修受講料等の助成事業を行うとともに、施設長に対し、施設経営の理解促進を図るための研修、生産性の向上セミナーを開催した。

研修受講料助成	54 事業所 95 人
---------	-------------

[以下再掲]

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長 研修会	1 月 27 日 ～28 日	神戸メリケン パークオリエ ンタルホテル	【1 日目】 現況報告 一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 会長 藤澤 徹 講演① 『求職者に響く！「採用ホームページ、SNS」改善・ 活用法』 ホームページコンサルタント永友事務所 代表 永友一朗氏 行政説明 『高齢者の安心確保の推進について』 兵庫県福祉部高齢政策課 課長 横田陽子氏 『社会福祉法人の指導監査について』 兵庫県福祉部総務課 法人指導官 三木水奈子氏 【2 日目】 講演② 『働く人に寄り添うワークライフファシリテータ ーの役割 ～ひとりで悩む事なくいきいきと働く～』 株式会社パソナ ワークライフファシリテーター協会 高津美咲氏	会場参加 107 名

生産性の向上 セミナー	7月29日	WEB	講義 『誰も知らない！？ 失敗しないテクノロジー導入の本質』 社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム六甲の館 理事長・施設長 溝田弘美氏	WEB 参加 73名 HP 閲覧 72回
----------------	-------	-----	---	-------------------------------

③ 介護の仕事啓発促進事業（補助事業）

11月11日「介護の日」に合わせて、広く県民の方に、介護の素晴らしさを知っていただくことで、福祉・介護サービスへの理解や関心を一層深めていただき、福祉人材の確保へつながることを目的に、介護を明るく楽しいと考えられる内容の講演と人生最終段階に向けての県民フォーラムの公開イベントを開催した。

[以下再掲]

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護の日 イベント	11月19日	兵庫県私学会 館	1. 講演①『福祉は同情なんかじゃない！』 フリーアナウンサー 桑原征平氏 2. 人生の最終段階に向けての県民フォーラム 講演②『終末期の過ごし方、あなたは考えたことあ りますか？～縁起でもない話をはじめよう ～』 日本終末期ケア協会 宮武佳菜枝氏	会場参加 116名

④ 介護技術講習会の開催（受託事業）

要支援、要介護になってもできる限り住み慣れた地域で暮らせるよう、家族の介護力を高めるため、利用者家族・地域住民等県民を対象として、特別養護老人ホーム等会員事業所で介護福祉士等が講師となり介護技術の講習会を開催した。

介護技術講習会の開催（再委託）	23事業所 39回 778人
-----------------	----------------

⑤ 高齢者等就労支援事業（受託事業）

高齢者等の特別養護老人ホーム等での就労を促進するため、介護に関する基礎知識・技術の修得（初任者研修、生活援助従事者研修の受講）を支援する事業を実施した。

コーディネーターの配置

本会にコーディネーターを配置し、県が実施した事業について、事業のPR、ひょうごケア・アシスタント登録者の資格取得への推進、県と関係施設との間の連絡調整、委託契約及び実績報告のとりまとめ、実施施設への情報提供を行った。

資格取得支援	5事業所 32人
--------	----------

⑥ 介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修事業（補助事業）

介護職員等を対象とした人生の最終段階の方への対応力向上を目的とする研修等を開催した。また、人生の最期まで安心して地域で暮らしていくことを考える機会として県民を対象とした県民フォーラムを開催した。

[以下再掲]

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修会	12月3日	WEB	講義 『終末期ケアとグリーフケア』 神戸大学医学部附属病院患者支援センター 副センター長 塩川ゆり氏	WEB 参加 138 名 HP 閲覧 69 回
人生の最終段階に向けての県民フォーラム	11月19日	兵庫県私学会館	講演 『終末期の過ごし方、あなたは考えたことがありますか？ ～縁起でもない話をはじめよう～』 日本終末期ケア協会 宮武佳菜枝氏	会場参加 116 名

⑦ 介護業務イメージアップ推進事業（受託事業）

介護職員の確保が困難な中、将来の担い手となる中学生・高校生・大学生やその保護者・教員に向けて介護業務の魅力を発信するとともに、未就労者に対して介護業界への参入促進を図るため、就職出前プレゼンテーション、介護人材の求人情報の発信機能を強化しHPの充実を図り、長期的な視点での介護人材確保対策を推進した。

- ・介護人材確保推進委員会 6回
- ・就職出前プレゼンテーション 2校（2回）
- ・イメージアップ推進員派遣 32校
- ・介護業務イメージアップ啓発ツール作成
（小・中学生用）リーフレット 4.4 万枚 県内中学 1 年生等
（一般用）リーフレット 4.5 万枚 県内高等学校 1 年生等
- ・「介護業界の PR」事業

「Instagram」「X」といった SNS を活用して広告配信し、介護業界の認知度を上げるため当会ホームページに誘導をした。

⑧ 介護人材確保に向けた市町・団体支援事業（補助事業）

既に就労している介護職員の資質の向上を図るため、介護福祉士実務者研修等を修了した者に対し、研修費用の補助を行った。対象は県内の老人福祉施設に勤務している介護職員又は勤務しようとする介護職員とし、受講料の一部相当額並びに新任職員ステップアップ研修の受講料の一部相当額を補助した。

介護福祉士実務者研修等受講料補助	5 事業所 7 人
新任職員ステップアップ研修受講料助成	1 事業所 2 人

⑨ ひょうごケア・アシスタント推進事業（補助事業）

介護業務に接する機会がない高齢者や子育てが一段落した女性等の地域住民（一般県民）に、介護業務への関心や魅力を感じてもらえるよう、介護老人福祉施設や介護老人保健施設において、「ひょうごケア・アシスタント」（CA）として、介護の補助的業務が体験できる機会を設けるための事業に要する経費等を補助することにより、介護現場への多様な人材の受入を促進し、介護人材の確保を図ることを目的に実施した。

介護老人福祉施設実施施設数	21 事業所
ケア・アシスタント参加数	28 人
研修終了後の継続就労者数	25 人